

債務・貧困・格差に関するデータ 2009

ダミアン・ミレー、エリック・トゥーサン (CADTM)

CADTM のダミアン・ミレーとエリック・トゥーサンが収集した以下のデータは、現在の世界危機を理解するのに必要不可欠なツールである。これらのデータは、なぜ世界が今このような状況に置かれているのか、その一番根底にあるものをグローバル・サウスの視点から考え、理解することを可能にしてくれる。

1960 年代から今日の世界危機に至るまで、CADTM 国際ネットワークは常に世界経済とそれに影響を及ぼす支配のメカニズムに批判的な目を向け続けてきた。真の問題が何であるかを特定し、適切な代替案を提案していく上で、多様な統計の分析は欠かせぬ作業である。

人間（低）開発、格差、「汚い」債務、資金移転、原材料価格、世界銀行そして IMF—この 2009 年度の便覧に含まれる数値はすべて信頼に足る資料から抜粋され、CADTM のチームによって注意深く検証されたものである。

歪曲され首尾一貫しない論理を展開する支配の側に対して、CADTM のハンドブックは、飾りのない現実を数値を通して直截に突きつける。私たちはここに示された事実を元に、社会正義と持続可能な環境の両方に適う、これまでとは根本的に異なる経済理論の基礎をどのように築いていくのか、熟考しなければならない。

1、グローバル化した世界の中の第三世界

人口と富

	第三世界	中央・東ヨーロッパ+トルコ	富裕国	世界
人口 (2006)	77%	7%	16%	65 億人
GDP (2006)	19%	5%	76%	48 兆 4600 億ドル
一人当たり GDP	1,520 ドル	2,700 ドル	28,600 ドル	5,800 ドル

世界の格差と阻害された人間開発

世界の最も豊かな 500 人の収入は、最も貧しい 4 億 1600 万人の収入の合計より大きい。

1 日 2 ドル以下で生活する人の数 (2005) : 26 億人

1 日 1.25 ドル以下で生活する人の数 (2005) : 14 億人

1 日 1 ドル以下で生活する人の数 (単位: 百万人)	1981 年	1990 年	2004 年
サハラ以南アフリカ	214	299	391
ラテン・アメリカ、カリブ海諸国	42	43	46
南アジア	548	579	596

飢えて苦しむ人の数 (2008) : 9 億 6300 万人

小学校に入学できない子どもの数 : 1 億人

妊娠・出産で死亡する女性の数 : 毎年 50 万人

きれいな水を恒常的に入手できない人の数 : 11 億人

基本的衛生設備がないところで暮らす人の数 : 26 億人

基本的な社会サービスと債務返済がそれぞれ予算に占める割合 (1992-1997)		
国名	社会サービス	債務返済
カメルーン	4.0 %	36.0 %
コートジボワール	11.4 %	35.0 %
ケニア	12.6 %	40.0 %
ザンビア	6.7 %	40.0 %
ニジェール	20.4 %	33.0 %
タンザニア	15.0 %	46.0 %
ニカラグア	9.2 %	14.1 %

世界中の人々に基本的社会サービス（基礎教育、保健医療、清潔な水、衛生設備）を提供するのに必要な金額：年 800 億ドル×10 年間（注1）

金持ちはますます金持ちになる

大富豪（億万長者レベル）の数（2001 年）：497 人 / 世襲財産の合計 1 兆 5 千億ドル

大富豪（億万長者レベル）の数（2007 年）：1125 人 / 世襲財産の合計 4 兆 4 千億ドル

ここに示された億万長者の世襲財産に毎年 2%の税をかけることを考えると、それだけで 880 億ドルが集まり、ヒューマン・ベーシック・ニーズを提供するのに必要な額を悠にカバーすることができる。これは様々考えられる提案のたったひとつに過ぎないが、これだけで十分に貧困削減の達成が可能である。

富豪（百万長者レベル）の数（2007 年）：1010 万人

彼らの世襲財産の合計：40 兆 7 千億ドル

この財産に 0.2%の税をかけても、必要な 800 億ドルを十分カバーできる額を徴収できる。

2. 1980 年代初期の債務危機前夜

1960 年代と 70 年代

	1960	1970	1980
対外債務残高	80 億ドル	700 億ドル	5400 億ドル

1980 年代に起きた変化

2.2.a 南から輸出される一次産品価格の下落

	1977 年と 2001 年の年平均価格の変化 (1985 年のドル価値)
食品	-2.6 %
熱帯産飲料	-5.6 %
油ならびに油脂用種子	-3.5 %
その他農産物	-2.0 %
金属、鉱石、鉱物（石油を含む）	-1.9 %
	-3.4 %

2.2.b 米国金利の上昇（債務返済に深刻な影響を及ぼした）

標準金利の変化

年	名目金利	実質金利（インフレ率差引後）
1970	7.9 %	2.0 %
1975	7.9 %	-1.3 %
1979	12.7 %	1.4 %
1980	15.3 %	1.6 %
1981	18.9 %	8.6 %

ラテンアメリカの場合、1970年から80年に抱えて平均マイナス3.4%だった実質金利（マイナス金利、つまり借り手に有利だった）ものが、1981年にはプラス19.9%、1982年にはプラス27.5%、1983年には17.4%となった（注2）。

2.3 融資された金はどのように使われたか

横領と腐敗

モブツの財産（1997年）	80億米ドル
ザイールの債務（1997年）	120億米ドル
デュバリエールの財産（1986）	9億米ドル
ハイチの債務（1986）	7億5千米ドル

人々の生活を破壊する巨大プロジェクト

チャドーカメルーンパイプライン	
パイプライン全長	1,070 km
パイプライン敷設費用	37億ドル
破壊された落花生畑に対する補償（平方メートル当たり）	3.7セント
破壊されたキビ畑に対する補償（平方メートル当たり）	0.7セント
マンゴーの木に対する補償（1本当たり）	4.5ドル
マンゴーの木1本の最初の収穫から得られる収入（マンゴー約1000個）	150米ドル

ほとんどが「汚い」債務

国名	独裁政権名	独裁制の期間	「（独裁政権が蓄積した）汚い」債務（億ドル）	2006年の債務残高（億ドル）
インドネシア	スハルト	1965-1998	1500	1310
イラク	サダム・フセイン	1979-2003	1220	920
ブラジル	軍事政権	1965-1985	1000	1940
アルゼンチン	軍事政権	1976-1983	450	1220
韓国	軍事政権	1961-1987	300	1540
ナイジェリア	ブハリ／アバチャ	1984-1998	300	80
トルコ	軍事政権	1980-1989	300	2080
フィリピン	マルコス	1965-1986	270	600
南アフリカ	アパルトヘイト体制	1948-1991	220	360
シリア	アサド	1971-	210	70
タイ	軍部リーダー	1966-1988	210	550
モロッコ	ハッサン2世	1961-1999	190	180
チュニジア	ベンアリ	1987-	180	180
ザイール／コンゴ民主共和国	モブツ	1965-1997	130	110
チリ	ピノチェト	1973-1990	120	480
パキスタン	軍事政権	1978-1988	100	360
ペルー	フジモリ	1990-2000	90	280
スーダン	ヌメイリ	1969-1985	90	190
エチオピア	メンギスツ	1977-1991	80	23
コンゴ	サッソー	1979-	61	61
ケニア	モイ	1978-2003	58	65
イラン	シャー	1941-1979	45	200
ボリビア	軍事政権	1964-1982	30	53
グアテマラ	軍事政権	1954-1985	27	55
マリ	トラオレ	1968-1991	25	14
ミャンマー（ビルマ）	軍事政権	1988-	23	68
ソマリア	シアドバーレ	1969-1991	23	28

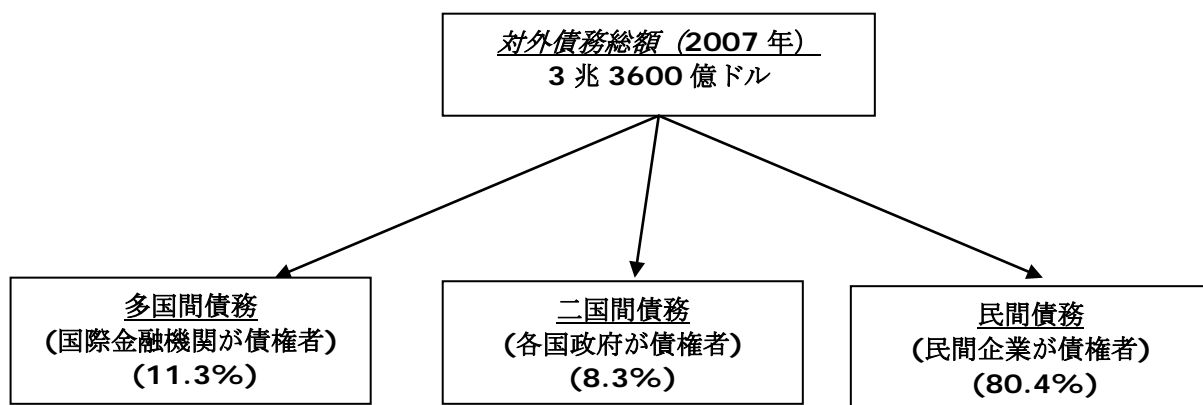
マラウイ	バンダ	1966-1994	22	9
パラグアイ	ストロエスネル	1954-1989	21	34
ニカラグア	アナスタシオ ソモサ	1974-1979	20	44
カンボジア	クメール・ルージュ	1976-1989	18	35
トーゴ	エイヤデマ	1967-	18	18
リベリア	ドウ	1980-1990	12	27
ルワンダ	ハビヤリマナ	1973-1994	10	4
エル・サルバドル	軍事政権	1962-1980	10	91
ハイチ	デュバリエール	1957-1986	8	12
ウガンダ	イディ・アミン・ダ ダ	1971-1979	5	13
中央アフリカ	ボカサ	1966-1979	2	10

3. 1980年以降の途上国の公的／民間対外債務

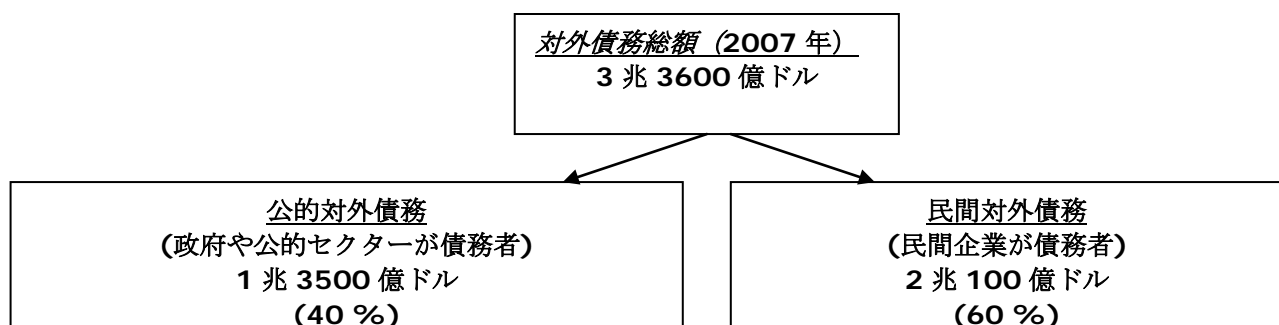
	債務残高(億ドル)	返済額(億ドル)
1980	5400	860
1990	1兆3300	1460
1995	1兆9500	2200
2000	2兆2600	3710
2004	2兆7500	4370
2007	3兆3600	5230

4 現在の途上国対外債務内訳

債権者別内訳



債務者別内訳



地域別内訳（2007年）

地域名	債務残高（億ドル）	返済額（億ドル）
ラテン・アメリカ	7900	1460
サハラ以南アフリカ	1900	170
中東・北アフリカ	1500	200
南アジア	2400	240
東アジア	7200	900
東・中央ヨーロッパ+トルコ・中央アジア	1兆2700	2260
総計	3兆3600	5230

もっとも重い債務を抱える南の国々（2007年、長期公的対外債務）

総額の多い国	単位：億ドル	人口一人当たりの債務額が多い国	単位：ドル
メキシコ	960	レバノン	4,670
ブラジル	850	ガボン	2,990
トルコ	780	パナマ	2,370
インドネシア	670	クロアチア	2,300
アルゼンチン	650	ジャマイカ	2,250
インド	600	ウルグアイ	2,180
ロシア	500	アルゼンチン	1,650

5 途上国の国内債務

途上国の公的国内債務（1997年）：1兆3千億ドル

途上国の公的国内債務（2005年）：3兆5千億ドル

途上国の公的国内債務の返済額（2007年）：6千億ドル

途上国の公的債務返済額（国内・対外両方の合計額、2007年）：8千億ドル

6 債務に関する資金移転

1980年以降の公的／私的対外債務の返済バランス

	債務残高（単位：ドル）
債務残高（1970年）	700億
債務残高（2007年）	3兆3600億
1980年から2007年までの返済額合計	7兆1500億

途上国は1970年に借りていた額の102倍を返済したが、この間に債務は48倍に増えた。

債務に関する正味の資金移転（受けた融資額から支払額を引いた差）

長期公的対外債務に関する正味の資金移転（2007年）	-189億ドル
1985年－2007年の長期公的対外債務に関する正味の資金移転の合計	-7590億ドル

マーシャル・プラン数回分の額が南から北に送られた

第二次世界大戦後、ヨーロッパのために実施されたマーシャル・プランの額	1000億ドル
1985年－2007年の長期公的対外債務に関する正味の資金移転の合計	7590億ドル

途上国の海外からの資金流入と海外への資金流出の比較（2007年）

公的開発援助	+ 1040 億ドル
多国籍企業の利益本国送還	- 2380 億ドル
移住労働者の送金	+ 2510 億ドル
公的対外債務返済額	- 1900 億ドル

実は途上国は先進国の債権者

途上国の外貨準備高合計（注3）：4兆5千億ドル

途上国の公的対外債務：1兆3500億ドル

米国の（財務省債という形での）公的対外債務（注4）：2兆2000億ドル

様々な有価証券という形で米国が抱える公的・私的対外債務総額：6兆6420億ドル

外貨準備高と公的対外債務の比較（億ドル）

国名	外貨準備高 (2008年)	公的対外債務額 (2006年)
中国	1兆8900	860
ロシア	4350	500
インド	3010	600
ブラジル	2060	850
アルジェリア	1380	40

誰が米国の海外債権者か？

国名	保有する米国証券額 (2007年6月、単位:ドル) (注5)
中国（香港を含む）	1兆
日本	9760億
英国	5000億
ルクセンブルグ	4690億
ケイマン諸島	4610億
ベルギー	3720億
アイルランド	2610億
湾岸石油輸出国+イラン	1690億
ドイツ	1660億
スイス	1550億
ロシア	1480億
バーミューダ	1480億
オランダ	1400億
韓国	1320億
カナダ	1270億
台湾	1100億
ブラジル	1050億
フランス	900億
メキシコ	890億
アジア合計	2兆5830億
ヨーロッパ合計	2兆5530億
租税回避地三諸島（ケイマン、バーミューダ、ジャージイ）合計	6640億

ラテンアメリカ合計	2650
アフリカ合計	200
所属国不明額	2130
国際機関	390
その他の国々	90
世界合計	6兆6420
うち、途上国	2兆550

7. 輸出への依存

国名	主要輸出産品	先の産品が輸出収入に占める割合 (2000年)
ベニン	綿	84%
マリ	綿	47%
ブルキナ・ファソ	綿	39%
ウガンダ	コーヒー	56%
ルワンダ	コーヒー	43%
エチオピア	コーヒー	40%
ニカラグア	コーヒー	25%
ホンジュラス	コーヒー	22%
サン・トメ&プリンシペ	ココア	78%
マラウイ	タバコ	61%
モーリタニア	魚介類	54%
セネガル	魚介類	25%
ギニア	ボーキサイト	37%
ザンビア	銅	48%
ニジェール	ウラン	51%
ボリビア	天然ガス	18%

北の諸国が自国のアグロ企業に払う農業補助金：1日10億ドル

8. HIPC（重債務貧困国）イニシアティブ

2008年時の適格国

HIPC イニシアティブ	
HIPCs 該当国（重債務貧困国）数	49
HIPC 諸国の人口が途上国人口に占める割合	11%
債務が持続可能とされイニシアティブからはずされた HIPCs の数	4
イニシアティブへの参加を拒否している HIPCs	4
HIPCs イニシアティブを達成すると思われる国の数	41
2008年7月までに決定点に到達した HIPCs 数	33
2008年7月までに完了点に到達した HIPCs 数	23

2008年7月までの進展状況

完了点到達国・到達年月		決定点到達国・到達年月		決定点未到達国
ウガンダ	2000年5月	ギニア・ビサウ	2000年12月	コート・ジボワール
ボリビア	2001年6月	ギニア	2000年12月	コモロ
モザンビーク	2001年9月	チャド	2001年5月	エリトリア
タンザニア	2001年11月	コンゴ民主共和国	2003年7月	キルギス共和国
ブルキナ・ファソ	2002年4月	ブルンジ	2005年8月	ネパール
モーリタニア	2002年6月	コンゴ	2006年3月	ソマリア
マリ	2003年3月	ハイチ	2006年11月	スーダン
ベニン	2003年3月	アフガニスタン	2007年7月	トーゴ

ガイアナ	2003年12月	中央アフリカ	2008年12月	
ニカラグア	2004年1月	リベリア	2008年3月	
ニジェール	2004年4月			HIPCs イニシアティブ からの脱退を決めた国
セネガル	2004年4月			ラオス
エチオピア	2004年4月			ミャンマー (ビルマ)
ガーナ	2004年7月			スリランカ
マダガスカル	2004年10月			ブータン
ホンジュラス	2005年4月			
ザンビア	2005年4月			
ルワンダ	2005年4月			イニシアティブ参加を 拒絶された国
カメルーン	2006年4月			アンゴラ
マラウイ	2006年9月			ケニア
シェオラ・レオネ	2006年12月			ヴェトナム
サン・トメ& プリンシペ	2007年3月			イエメン
ガンビア	2007年12月			

[斜字は、最初HIPCと認められていなかったが、2006年以降、このリストに登場した国]

HIPC31カ国の長期公的対外債務の変化

年	2007年9月までに決定点に到達した HIPC31 国の長期公的対外債務額 (単位: 億ドル)
1996	1038
1997	1020
1998	1071
1999	1000
2000	968
2001	921
2002	1003
2003	1106
2004	1104
2005	1006

最初に決定点に到達した 31 国の債務返済額

年	2007年9月までに決定点に達した HIPC31 国の債務返済額
2000	38.0
2001	28.7
2002	30.0
2003	32.9
2004	36.9
2005	38.8
2006	32.9

いくつかの貧しい国にとってはまやかしの債務救済でしかない。

債務の現在価値が輸出収入に占める割合 (この割合を150%以下にすることがHIPCイニシアティブの目標である)

国名	完了点到達年	決定点到達時に予想された割合	完了点到達時の実際の割合
ブルキナ・ファソ	2002	185.5%	207.5%
エチオピア	2004	173.5%	218.4%
ニジェール	2004	184.8%	208.7%

ルワンダ	2005	193.2%	326.5%
マラウイ	2006	169.0%	229.1%
サン・トメ&プリンシペ	2007	139.7%	298.7%

9. 北の債務と南の債務

北の諸国の債務データ (2007年)

	単位：ドル
豊かな国々の公的債務	30兆
米国の公的債務	9兆3000億
日本の公的債務	8兆
ユーロ圏の公的債務	8兆1000億
英国の公的債務	1兆3000億
米国債務総額	49兆
先進国の公的対外債務	1兆3500億

北の諸国の債務と、それぞれの国が緊密な関係を持っている南の各地域の債務額

各2007年時の額	単位：ドル
フランスの公的債務	1兆8000億
ベルギーの公的債務	4100億
サハラ以南アフリカの公的対外債務	1300億
米国の公的債務	9兆3000億
ラテン・アメリカの公的対外債務	4000億
日本の公的債務	8兆
南・東アジアの公的対外債務	4200億

北の諸国が巨額の支出をする各分野の額と途上国債務

年間の広告費	4860億ドル
年間の軍事費	1兆3390億ドル
途上国の公的対外債務の1年間の返済額	1900億ドル
麻薬取引にまつわる1年間の金額	4000億ドル
Total of US expenses directly related to the war in Iraq before the end of 2007	4000億ドル
2007年までの米国のイラク戦争への支出総額	

米国がイラクとアフガニスタンの戦争で1ヶ月に費やす金：160億ドル
 国連の年間予算：160億ドル

北の銀行にある途上国の富裕層の預金額 (2007年、単位：億ドル)

地域	公的対外債務	北の諸国への預金額
ラテンアメリカ&カリブ海諸国	4000	4900
中東&北アフリカ	1100	3600
サブサハラ・アフリカ	1300	2300
南アジア	1600	1900
東アジア&太平洋諸国	2600	4500
東・中央ヨーロッパ+トルコ・中央アジア	2900	6600
総額	1兆3500	2兆3800

スイスから途上国（ナイジェリア、フィリピン、ペルーなど）に返還された不正蓄財：16億ドル

2008年の世界危機

2008年4月-10月の期間、各国政府と中央政府により市場に注入された資金（注6）：7兆8千億ドル

途上国の公的対外債務：1兆3500億ドル

2007年8月－2008年8月の期間の銀行の損失と資産の減額：5000億ドル（注7）
 2008年、米国、英国、スペイン、スイスの銀行の損失額：1兆2千億ドル（注8）

途上国の、北の民間銀行に対する公的債務額：2000億ドル
 2009年1月、危機に対応するために銀行が投じた資金の総コスト（IMF試算）：2兆2000億ドル

2008年のロイヤル・バンク・オブ・スコットランドの損失：300億ドル
 ケニアのGDP：300億ドル

第三世界は新たな債務危機にむかっている

一次産品と農産物輸出収入の下落

産品名	単位	昨年の最高値	最高値日	2009年2月17日 の価格
原油	ドル/バレル	146.35	08年7月15日	36.78
銅	ドル/トン	8,980	08年7月3日	3,406
綿	セント/ポンド	86.88	08年3月4日	44.60
米	セント/ポンド	24.68	08年4月24日	12.49
小麦	セント/ブッシェル	1275	08年3月13日	535
とうもろこし	セント/ブッシェル	757.75	08年6月26日	363.50

結果：輸出収入が急激に減少し、南の国の政府は公的債務返済に新たな困難を抱え始めている。

加えて、以下の二つの理由により、返済コストが上昇している。

a. ほとんどの債務は米ドル建てであるが、2008年7月以降、米ドルは他の通貨に対して高く推移している。債務返済に必要なドルを得るために、南の政府は以前より多くの自国通貨を費やさなくてはならない。

b. 途上国政府が金を借りるために払わなければならないリスク・プレミアム（スプレッド）が2008年7月以降、急激に上昇している。そのために途上国政府は外貨準備金を取りくずなくてはならなかった。

ロシアの外貨保有高は2008年の後半だけで500億ドル減少した。外貨準備が少ない国（たとえばエクアドル）は、債務返済の停止を考慮しなければならなくなる。

政府が破産した民間企業を救済しているので、公的債務自体もさらに増えていくだろう。

9.7 北の公的債務も新たな危機に向かっている

銀行と保険会社の救済にかかる巨額の費用のせいで、北の国々の公的債務が急激に増加し、また、それらの債務を借り換えのための新規債券の発行の必要性も増加している。同時に不況で税収が大幅に減少している。2007年に始まった私的債務の危機の後、公的債務も危機に陥りそうな状況である。

10. IMFに関する数値

IMF内の投票権

IMF 理事会メンバー24名の投票権の配分（2008年11月）					
国名	%	グループ（代表国）名	%	グループ（代表国）名	%
米国	16.77	ベルギー	5.14	インドネシア	3.52
日本	6.02	オランダ	4.78	エジプト	3.20
ドイツ	5.88	スペイン	4.45	スイス	2.79
フランス	4.86	イタリア	4.10	ブラジル	2.42
英国	4.86	カナダ	3.64	インド	2.35
サウジアラビア	3.16	スウェーデン	3.44	イラン	2.42
中国	3.66	韓国	3.44	アルゼンチン	1.96
ロシア	2.69	シエラ・レオネ	3.01	ルワンダ	1.35

[モリタニアとソマリアには投票権がない]